

# KL-H75

## 取扱説明書

保証書別添

J Z

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

デザインロゴ編

入力・編集編

設定編

付録

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA519943-001V02

**CASIO**<sup>®</sup>

MO0811-B

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

## あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。

使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

# 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

## 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

## 危険

### アルカリ電池について

 アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
  2. ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくと失明の原因となります。

## 警告

### 煙、臭い、発熱などの異常について

 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

### ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  必ず付属品を使用する
-  電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
-  1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

## 警告

### ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  • 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  • 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する

### ACアダプターについて

-  • 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。  
感電の原因となります。
- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

### 電池について

-  本機内で電池が液漏れしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡してください。

## 警告

### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  • 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
-  • 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

### 落とさない、ぶつけない

-  本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 電源スイッチを切る。
  2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

### 分解・改造しない

-  本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。  
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

## 警告

### 水、異物はさける



水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

### 火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

### 袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない



電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

## 注意

### ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストープ等の熱器具に近づけない
-  プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く）
-  プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
-  旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
-  ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
-  ACアダプターのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
-  ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  本機で指定されている電池以外は使用しない
-  長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

## 注意

### 大切なデータは控えをとる

-  本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

### 重いものを置かない

-  本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

### 置き場所について

-  本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

### 不安定な場所に置かない

-  ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

## 注意

### 乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

-  本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

### 表示画面について

- 
  - 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。  
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
  - 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。  
皮膚の炎症の原因となることがあります。
  - 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
  - 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

### 高温注意

-  プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

# ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(83ページ)をご覧ください。プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

## JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# もくじ

<b>準備編</b> .....	12	用途に応じて作る .....	36
各部の名前とはたらき .....	12	フォーマットを選んで作る (定型フォーマット) .....	36
付属品を確認しましょう .....	14	名前シールを作る .....	40
本機の操作の流れ .....	15	<b>フリーラベルの編集機能</b> .....	42
電源について .....	16	2行以上のラベルを作る .....	42
ACアダプターで使う .....	16	縦書きのラベルを作る .....	43
はじめて使うときは「メモリーの 初期化」を! .....	18	裏表が逆さまなラベルを作る ..	44
電源を入れる・切る .....	19	文章のバランスを整える(割付) ..	45
オートパワーオフ(節電)機能に ついて .....	19	文字と文字の間隔を整える (文字間隔) .....	46
メモリーの復帰について .....	19	文字の大きさを決める .....	47
<b>テープカートリッジを</b> 取り付ける/取り外す .....	20	フレームをつける .....	49
テープカートリッジを取り付ける ..	20	作成したデータを登録する・呼び出す ..	51
テープカートリッジを取り外す ..	23	データを登録する .....	51
<b>キーのはたらき</b> .....	24	登録したデータを呼び出す ..	52
キーの表記について .....	26	登録したデータを削除する ..	52
画面の見かた .....	27	<b>デザインロゴ編</b> .....	53
<b>おためし印刷編</b> .....	28	ロゴ入りのラベルを印刷する (デザインロゴ) .....	53
まずは作ってみましょう .....	28	デザインロゴを印刷する .....	53
ラベルを印刷する .....	28	<b>入力・編集編</b> .....	55
テープをカットする .....	29	カーソルのはたらきと動かしかた ..	55
ラベルを貼る .....	30	ローマ字入力?それともかな入力? ..	56
テープを空送りする .....	31	ローマ字入力とかな入力を 切り替える .....	56
印刷結果を画面で確認する ..	31	入力する文字の切り替え方法 ..	57
<b>印刷時の注意事項</b> .....	33	ひらがな・カタカナの入力 ..	57
<b>ラベル作成編</b> .....	34	アルファベット(大文字・小文字) の入力 .....	57
ラベル作成の流れ .....	34	ひらがな・カタカナの入力 .....	58
操作の流れ .....	34	ひらがなの入力 .....	58
自由に入力して作る(フリーラベル) ..	35		
フリーラベルを作る .....	35		

カタカナの入力	59
いろいろな文字の入力方法	60
<b>漢字の入力</b>	<b>61</b>
文章を入力してから変換する	61
漢字1文字ずつ変換する (単漢字変換)	63
<b>アルファベット・数字・記号の入力</b>	<b>65</b>
アルファベットの入力	65
数字の入力	66
記号(キーに印刷されているもの) の入力	67
その他の記号	68
<b>絵文字の入力</b>	<b>69</b>
<b>文字を修正・削除するときは</b>	<b>70</b>
文字を1文字ずつ消す	70
すべての文字を消す(文削除)	71
間違った文字を直す	71
<b>書体(フォント)を変える</b>	<b>73</b>
入力済みの文字の書体を変える	74
電源を入れたときの書体を決める (初期フォント)	75
<b>文字を目立たせる</b>	<b>76</b>
<b>文字に飾りをつける</b>	<b>77</b>

## 設定編 ..... 78

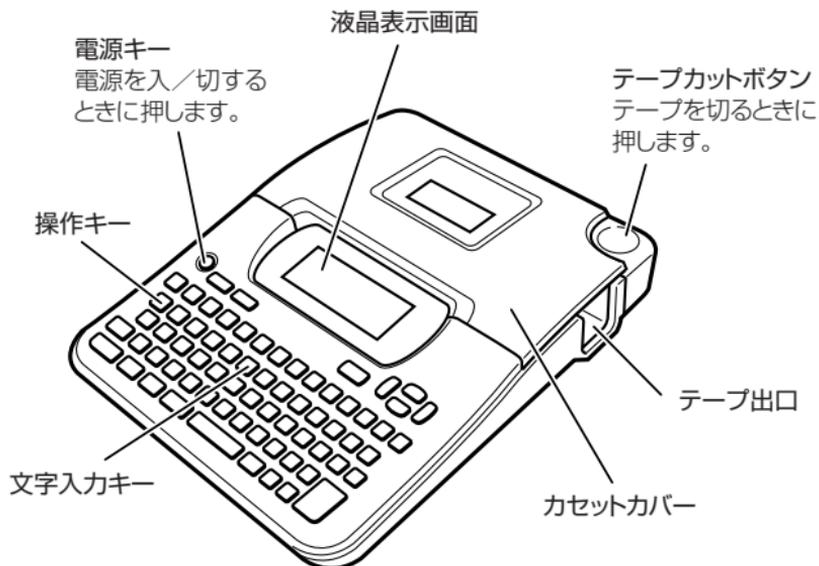
<b>設定を変える</b>	<b>78</b>
設定できる項目	78
画面の明るさを変えたい	79
印刷の濃さを変えたい	79
サンプルデータを印刷する (デモ印刷)	80

## 付録 ..... 81

<b>電源について</b>	<b>81</b>
乾電池で使う	81
<b>お手入れの方法</b>	<b>83</b>
綿棒できれいにする	83
クリーニングテープを使う	84

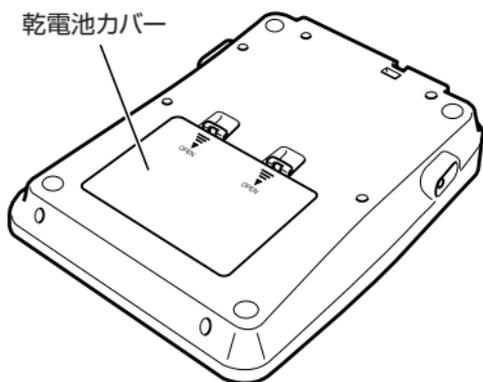
<b>こんなときは</b> (トラブルシューティング)	85
エラーメッセージ一覧	88
<b>ローマ字入力一覧</b>	<b>92</b>
<b>テープ幅と行数・倍率一覧</b>	<b>94</b>
<b>各機能における</b> 使用可能テープ幅一覧	94
記号・絵文字一覧	95
フレーム一覧	98
定型フォーマット一覧	99
名前シールフォーマット一覧	102
デザインロゴ一覧	104
仕様	106
別売品について	107
索引	108
保証・アフターサービスについて	111
お客様ご相談窓口	112

# 各部の名前とはたらき





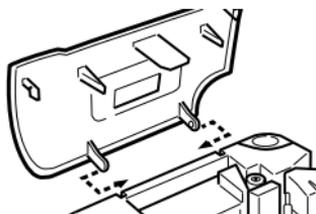
ACアダプター接続端子  
付属の専用ACアダプ  
ターを接続します。



乾電池カバー

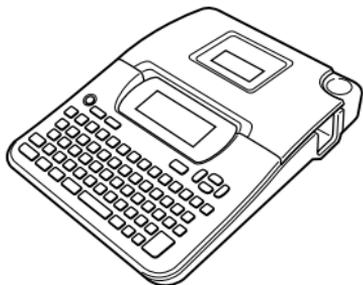
## ■カセットカバーが外れてしまったら

カセットカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



# 付属品を確認しましょう

KL-H75本体



収納ケース

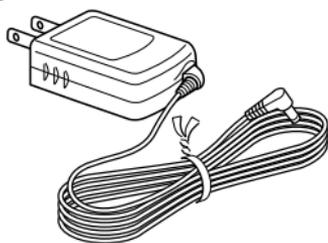


ACアダプター

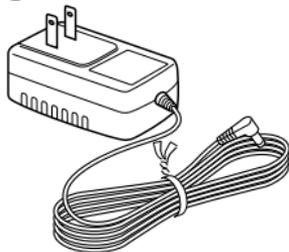
AD-A95100

販売時期の違いなどにより、下記のいずれかの形状のものが付属しています。

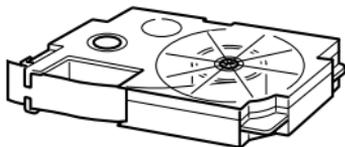
①



②



お試用テープカートリッジ



本書  
保証書  
別売品カタログ

# 本機 の 操 作 の 流 れ

## ACアダプターの接続

16ページ

または乾電池のセット

81ページ

- ・ 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。  
(18ページ)
- ・ メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



## テープカートリッジの取り付け

20ページ



### 自由に入力して作る

フリーラベル 35ページ

フリーラベルの編集機能  
42ページ

### 用途に応じて作る

定型フォーマット

名前シール

デザインロゴ

36、40、53ページ



## 印刷する

29ページ



# 電源について

本機を使うときは、電源として付属のACアダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

- ご使用前に「安全上のご注意」(1～8ページ)を必ずご覧ください。
- 市販の乾電池のセットについては、81ページをご覧ください。

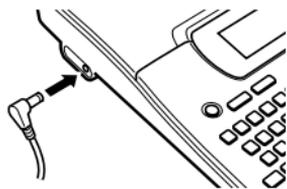
## ACアダプターで使う

### ■取り付ける

**重要** 付属または指定のACアダプター以外は使用しないでください。



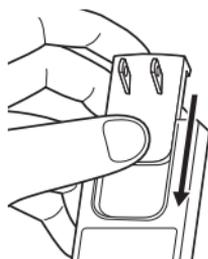
- 1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続端子に差し込みます。



- 2 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。

### ■ACアダプターのプラグ部分が外れてしまったら

付属品のACアダプターが、14ページの②の形状の場合、ACアダプターのプラグ部分が外れることがあります。そのときは、図のようにプラグ部分をACアダプターのレールの形状に合わせて、スライドさせてセットしてください。その際、プラグ部分がACアダプター本体に完全に挿入されるまでしっかりと固定してください。



## ■取り外す



- ・印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・「電源が入っている状態」や、電源を切った後も、表示画面が完全に消えるまでは、ACアダプターや乾電池(81ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- ・「ACアダプターから電池に切り替えるとき」「電池からACアダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってから電池のセットやACアダプターの接続をしてください。電源を入れた状態で行くと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

1  を押して電源を切ります。

2 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3 本機のACアダプター接続端子からACアダプターのプラグを抜きます。



- ・電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

### データの保持について

本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

# はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

**重要**  メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

- 1** 電源が切れていることを確認します。  
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。
- 2** とをいっしょに押しながら、を押します。
  - 、、を押していた指はほぼ同時に離します。
  - 「メモリー初期化？」が表示されます。
- 3** を押します。  
「しばらくお待ちください」と表示された後、文字入力画面が表示されて、本機が使用可能になります。

## メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

## 「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。

「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

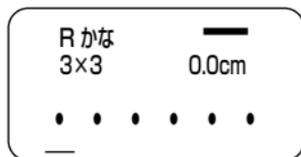
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

# 電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは<sup>電源</sup>○を押すだけで本機が使えます。

## 電源を入れるには…

電源  
○を押します。



## 電源を切るには…

電源  
○を押します。

しばらくお待ちください



- 画面の明るさを調整するときは、79ページをご覧ください。

## オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

ふたたび本機を使うときは、<sup>電源</sup>○を押してください。

## メモリーの復帰について

文書作成中に電源を切ったりオートパワーオフ機能がはたらいたときは、一時的にメモリーに保存されます。電源を入れて「[実行]で前回の文章が復帰します」と表示されたときは、**[実行]**を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます。

※定型フォーマット、名前シールで作成中の文章は復帰できません。

# テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。  
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(付属の別売品  
カタログ参照)

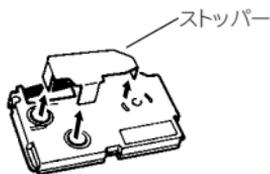
## テープカートリッジを取り付ける

- 1 電源  を押して、電源を切ります。
- 2 カセットカバーの中央部分に指をかけて、カバーを開けます。



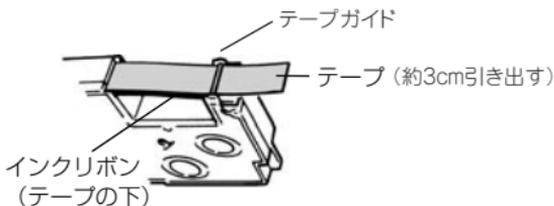
**重要**  カセットカバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

- 3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



## 4 テープとインクリボンの状態を確認します。

- テープの先が曲がっていない(曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする)
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない

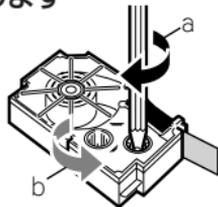


- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

### インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。

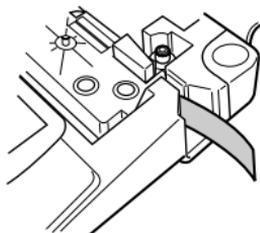
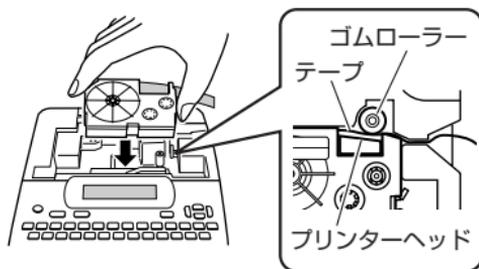
このとき、テープはいっしょに動きません。



## 5 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

**重要** 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



## 6 カセットカバーを閉めます。



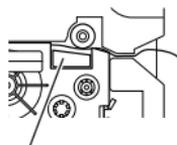
- カセットカバーは、しっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

## テープカートリッジを取り外す

- 1 20ページの手順1～2と同様な操作で、カセットカバーを開けます。

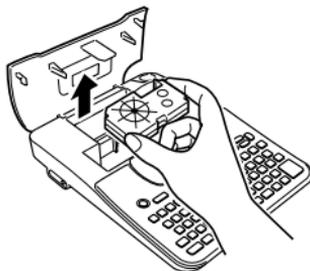


印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。



プリンターヘッド

- 2 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。





⑧		改行するときに押す。
⑨		操作を進めるときに押す。
⑩		アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(57ページ)
⑪		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(57ページ)</li> <li>ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、<b>機能</b>を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑫		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなを漢字などに変換するとき押す。</li> <li>1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、<b>機能</b>を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑬		<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字に変換しないでひらがなのまま確定するとき押す。</li> <li>入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、<b>機能</b>を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑭		1文字ずつ漢字に変換するとき押す。
⑮		操作を戻したり、中止したりするとき押す。
⑯		キーの上下または横に <b>機能</b> と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑰		アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(65ページ)
⑱	(文字キー)	文字を入れるときに押す。



**機能**と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。

- 機能**(**シフト**)を押し、指を離してから目的のキーを押す。
- 機能**(**シフト**)を押しながら目的のキーを押す。
  - 本書の操作説明は、「**機能**(**シフト**)を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

## キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を①や(実行)などのように表記しています。

**例** ①を押したあとに続けて(実行)を押すときの表記

↓

① (実行) と押します。

- 本機のキーの上下または横に(機能)と同じ色で書かれている機能(「装飾」や「カタカナ変換」など)を使うには、(機能)を押し、指を離してから(機能)と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

**例** 「装飾」機能を使うときの表記

↓

(機能) を押し、指を離してから<sup>装飾</sup>④<sub>え</sub>を押します。

- 操作手順の中で、「△▽◀▶を押して…」「△▽を押して…」「◀▶を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは(取消)を押します。
- (取消)を何回押しても希望の画面に戻らないときは、<sup>電源</sup>○を押して一度電源を切ります。○を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

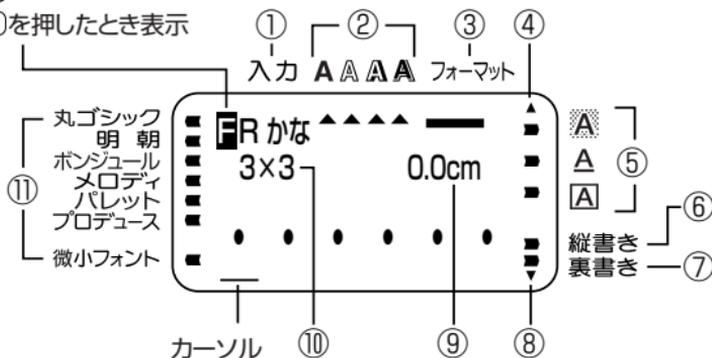
# 画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、79ページをご覧ください。

**S**: **シフト**を押したとき表示

**F**: **機能**を押したとき表示



①	入力できる文字の種類を示す。(57ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(76ページ)
③	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(35ページ)
④	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑤	文字装飾が何になっているか示す。(77ページ)
⑥	縦書きになっていることを示す。(43ページ)
⑦	裏書きになっていることを示す。(44ページ)
⑧	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑨	いま作っているラベルの長さを示す。
⑩	文字のサイズを示す。(47ページ)
⑪	書体(フォント)が何になっているかを示す。(73ページ)

## まずは作ってみましょう

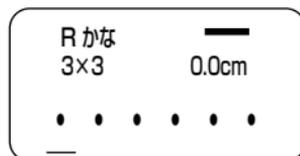
準備ができれば、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

### ラベルを印刷する

[印刷例]

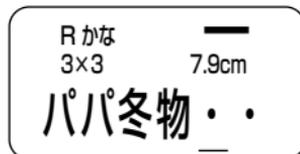
パパ冬物

- 1 電源  
○を押して、電源を入れます。



- 2 文字を入力します。  
ここでは「パパ冬物」と入力します。

- 文字の入力方法については、32ページをご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用する環境や印刷する内容によって、実際のできあがりの長さとは完全には一致しません。



## ■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。

**重要**  印刷する前に、「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口(12ページ)が物でふさがっていないこと」を確認してください。

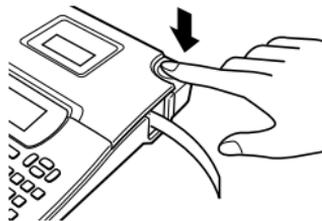
1 印刷プレビュー  
**印刷**を押します。  
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、**取消**を押します。
- 印刷時の注意事項(33ページ)を必ずお読みください。

## テープをカットする

1 テープカットボタンを押して、テープをカットします。

- テープを切るときは、本機をかたむけな  
いでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押  
さないでください。

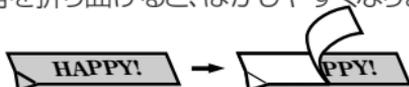


**重要**  印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープがつかったり、本機が壊れたりすることがあります。

## ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。  
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

**重要** 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。



- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料(シリコン系・PP材など)

## テープを空送りする

印刷を途中で取り消したときなどに、途中まで印刷されたテープを白紙で送ることができます(テープ送り)。

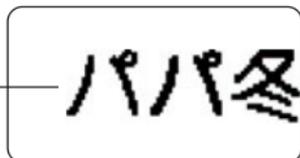
- 1 **機能** を押し、指を離してから **テープ送り** を押します。  
テープが約20mm送られます。

## 印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **印刷プレビュー印刷** を押します。

どのように印刷されるのか、  
そのイメージが画面に流れ  
ます



- 2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行** を押します。  
その部分が止まります。

**実行** を押しと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは **取消し** を押します。
- 次の場合は正しくプレビュー表示されないことがあります。  
細い線のある文字や字画の多い漢字  
幅の狭いテープをセットしているとき  
ラベルが2行以上のとき  
ラベルに装飾(文字体、文字修飾)をつけたとき

## 文字の入力について

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。  
ここでは、ローマ字入力を選びます。(56ページ)

### ■「パパ」を入力します。

- ① **あ**を何回か押して、画面左上に「**Rカナ**」を表示させます。
- ② **(P)(A)(P)(A)**

### ■「冬物」を入力します。

- ① **あ**を何回か押して、画面左上に「**Rかな**」を表示させます。
- ② **(F)(U)(Y)(U)(M)(O)(N)(O)**
- ③ **変換**を何回か押して、「冬物」が画面に表示されたら**実行**を押します。

- 誤った文字を入力したときは、**文字削除**(70ページ)または**後退**(70ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「**入力・編集編**」(55ページ)をご覧ください。

# 印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、本体のカセットカバーまたは乾電池カバーは絶対に開けないでください。
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまでさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

## 反射テープ、アイロン布テープについて

反射テープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機で反射テープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

- 1 印刷する
- 2 **機能**を押し、指を離してから<sup>テープ送り</sup>**←送**を押して、テープ送りをする
- 3 反射テープ、アイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする

※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

# ラベル作成編

## ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で行います。

・本機を使用するための準備の流れについては、15ページをご覧ください。

### 操作の流れ

#### 1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル ..... 35ページ  
定型フォーマット .... 36ページ  
名前シール ..... 40ページ

登録してある  
データ呼び出  
して使うときは  
(51ページ)

前回作成した  
データを使うと  
きは  
(19ページ)

#### 2 文字を入力する(55ページ)

#### 3 文字を修飾する

書体(フォント)を変える(73ページ)、文字を目立たせる(装飾)(76ページ)

ラベルを印刷(29ページ)・登録(51ページ)する

※定型フォーマット、名前シールは登録できません。

# 自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

## フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、28ページを参照してください。

操作を簡単に説明すると、以下のようになります。

- 1 <sup>電源</sup>を押して、電源を入れます。
- 2 「[実行]で前回の文章が復帰します」と表示された場合は、を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます(19ページ)。
- 3 自由に文字を入力します。
  - ・フリーラベルを編集するときは→42ページ

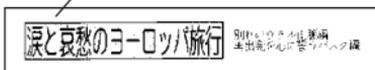
# フォーマットを選んで作る(定型フォーマット)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

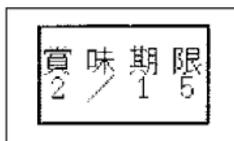
※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

## 定型フォーマット

オーディオラベル



ファイルラベル



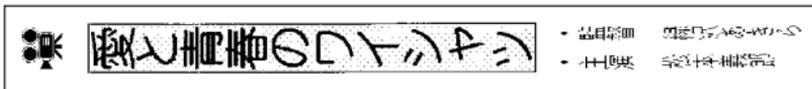
期限日ラベル



ビデオラベル

- ビデオラベル・オーディオラベル・ファイルラベル・期限日ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

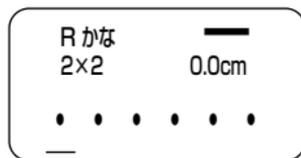
## [印刷例]



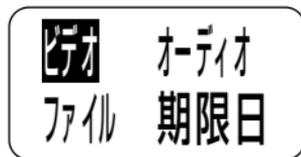
(9mm幅テープ/ビデオ/VHS/3)

**重要** 99ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

**1** **電源**を押して、電源を入れます。



**2** **ラベルフォーマット**を押します。



**3** を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。ここでは「ビデオ」を選びます。



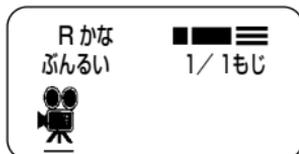
**4** を押して、「ビデオ」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。ここでは「VHS」を選びます。



- 5 を押してフォーマットを選びます。  
詳しくは「定型フォーマット一覧」(99ページ)をご覧ください。  
ここではを2回押します。



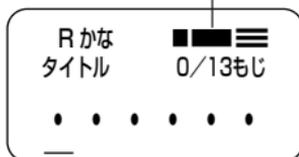
- 6 を押します。  
絵文字が表示されます。



- 7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、69ページをご覧ください。

作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)  
※ 現在入力中の項目が点滅します。



- 8 文字を入力し、を押します。  
ここでは3つの項目を入力します。

- フリーラベルと同様に、文字体(太字、白抜、影付、立体)を選択することができます。フォーマットによっては、枠付を選択することができます。

これでラベルデータが完成しました。



## 9 ◀▶を押して印刷を選び、実行を押すと、印刷が開始されます。



- 印刷をするときは、33ページの注意事項をご覧ください。
- 「期限日」のフォーマットで作成したラベルは、電子レンジやオーブンで使用する物には貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジやオーブンで加熱すると発火や火傷の原因となります。ラベルを貼った物を電子レンジやオーブンで使用する場合は必ずラベルをはがしてください。

### 印刷の方向などを設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の方向などを設定することができます。

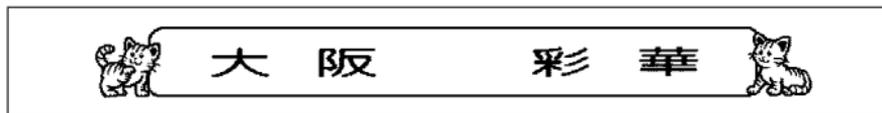
- 印刷方向を縦書きや横書きに設定する
- 表裏が逆さまなラベルを印刷する

設定方法については、43、44ページをご覧ください。

# 名前シールを作る

小物用やノート用などの名前シールを作ることができます。

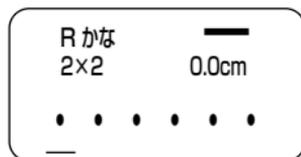
## [印刷例]



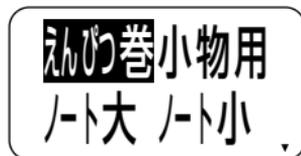
(9mm幅テープ/ノート大/フレーム付き)

**重要** 102ページをご覧くださいになりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。3.5mm/6mmのテープカートリッジは使用できません。

**1** 電源 を押して、電源を入れます。



**2** 機能 を押し、指を離してから 名前シール フォーマット を押します。



**3** △ ▽ ◀ ▶ を押して作成するラベルの種類を選び、実行 を押します。  
ここでは「ノート大」を選びます。

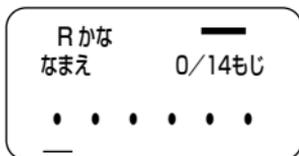
**4** ◀ ▶ を押してフォーマットを選びます。  
詳しくは「名前シールフォーマット一覧」(102ページ)をご覧ください。  
ここでは ▶ を2回押します。

- 5 **実行**を押します。  
フレームの選択画面が表示されます。



- 6 **△** **▽** **◀** **▶**を押してフレームを選び、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類によっては、絵文字を入れることもできます。



- 7 38～39ページの手順8～9と同様な操作で、文字の入力と印刷をします。



- 「小物用」のフォーマットで作成したシールは、名前に沿ってハサミで切り離してご使用ください。「ノート大」「ノート小」「住所」のフォーマットでは、「テープながさ」の表示が **| 8.0cm |** のように表示されます。この場合、作成したラベルの先頭の約17mmの余白をハサミでカットすると、左右のバランスが良くなり、表示された長さになります。
- 「えんぴつ巻き」のフォーマットで作成したシールは、えんぴつの太さに合わせて余白をハサミで数mmカットするときれいに巻くことができます。

## 2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。  
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

**重要** 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。



テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行

テープの幅	最大行数
9/12/18/24mm	3行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。  
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(47ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]  
(12mm幅テープ)

町内連絡網	1行目
最新版	2行目

1 1行目の入力が終わったら、を押した後2行目を入力します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、を押します。
- 改行を取り消すときは、を押してマークを削除します。
- ラベルデータを印刷するときは→29ページ
- ラベルデータを登録するときは→51ページ

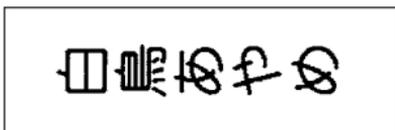
# 縦書きのラベルを作る

ラベルは、通常は、横書きで印刷されますが、縦書きで印刷することもできます。

**重要** 縦書きと横書きがまざったラベルを作ることはできません。



[印刷例]



- 1 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **9** を押します。

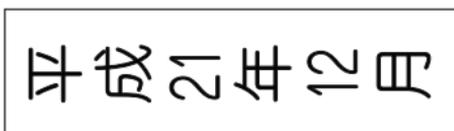


- 2 **⊙** **⊙** を押して **縦書き** を選び、**実行** を2回押します。  
印刷すると、縦書きのラベルになります。

・「横書き」に戻すときは、手順2のときに、「横書き」を選びます。

## ■「平成21年12月」などのラベルの作り方

[印刷例]



「21」や「12」などは、記号一覧(95ページ)の記号を使用すると、簡単に上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、68ページをご覧ください。

# 裏表が逆さまなラベルを作る

透明ガラスの裏側に透明テープを貼るときや、別売の布転写テープを使ってハンカチやTシャツなどに転写するときは、裏表が逆さまなラベルを作ります。

ラベル全体が裏表逆さまな文字になります。

[印刷例]

平吉宗

ラベル作成編

裏表が逆さまなラベルを作る

- 1 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **9** を押します。



- 2 **▽** を押します。  
裏書きの設定画面が表示されます。



- 3 **◀▶** を押して、**する** を選び、**実行** を押します。  
印刷すると、裏表が逆さまなラベルになります。

・縦書きで、裏表が逆さまのラベルを作るときは、手順1で**▽**を1回押して、**縦書き**を選びます。

# 文章のバランスを整える(割付)

2行以上の文章のバランスを整えることができます。

- 重要**  ・1行の文章のときは、割付の設定は無効です。  
・定型フォーマット、名前シールでは割付の設定はできません。

2行以上の文章のときは、次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ

最新  
町内連絡網

中寄せ

最新  
町内連絡網

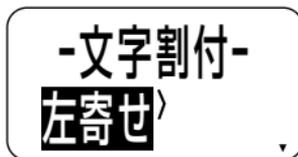
右寄せ

最新  
町内連絡網

均等

最新  
町内連絡網

- 1** 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **8** を押します。  
文字割付の設定画面が表示されます。



- 2** **⊙** を押して、希望の割付の種類を表示させます。  
**⊙** を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。
- 3** **実行** を2回押します。  
印刷すると、割付されたラベルになります。

# 文字と文字の間隔を整える(文字間隔)

文字の間隔のバランスを整えることができます。

重要! 定型フォーマット、名前シールでは文字間隔の設定はできません。



普通(文字間1mm)

江藤まこと

広い(文字間2mm)

江藤まこと

密着(文字間無し)

江藤まこと

1 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **8** を押します。

2 **▽** を押します。  
文字間隔の設定画面が表示されます。

-文字間隔-  
普通

3 **◀ ▶** を押して、希望の文字間隔の種類を表示させます。  
**◀ ▶** を押すたびに、**広い** **密着** **普通** と文字間隔の種類が変わります。

4 **実行** を押します。  
印刷すると、文字間隔が調整されたラベルになります。

# 文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(ジャストフィット印刷)。

ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

文字単位で「1×1」～「4×4」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 94ページ)。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

1×2(横書き)

終日禁煙

1×2(縦書き)

終日禁煙

【例】 「禁煙」を1×3にする

- 文字を入力した後、**機能**を押し、指を離してから<sup>印サイズ</sup>**3**を押します。ジャストフィット印刷のサイズが表示されます。

縦 横  
3×3 倍

2 「1~4」の数字を直接入力して、文字サイズを指定します。  
ここでは、[1][3]と押します。

- 文字サイズの指定は△▽◁▷でも行うことができます。

縦横  
1 × 3 倍

3 **実行**を押します。  
範囲の指定画面が表示されます。

どこから?  
禁煙 . . . .

4 ◁▷を押して、指定する範囲の先頭(ここでは「禁」)にカーソルを移動して、**実行**を押します。  
範囲の終点を指定する画面が表示されます。

どこまで?  
禁煙 . . . .

5 ◁▷を押して、指定する範囲の最後にカーソルを移動して、**実行**を押します。

#### 微小フォントについて

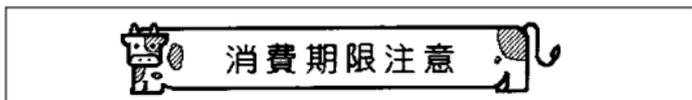
- 行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(94ページ)。
- 微小フォントには、次のような特徴があります。
  - ・ フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
  - ・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
  - ・ 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。
- 微小フォントに設定されているときは、画面左下に「微小フォント」の■が点灯します。

# フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。  
フレームの一覧は98ページをご覧ください。

重要  3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]



(9mm幅テープ)

- 1 文字を入力します。
- 2  を押し、指を離してから  を押します。
- 3     を押して、フレームの分類を選び、 を押します。  
ここでは  を選びます。
- 4     を押して使うフレームを選び、 を押します。  
ここでは  を選びます。
- 5   を押して  を選び、 を押します。  
印刷が開始されます。  
・「文字修飾」の指定は無効になります。



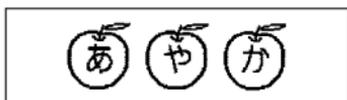
印刷するときは、33ページの注意事項をご覧ください。

## ■文字単位でフレームをつける



3.5mm/6mm幅テープでは文字単位のフレームをつけることはできません。

【印刷例】



1 49ページの手順3で**文字**を選び、**実行**を押します。

2 **△▽◁▷**を押して使うフレームを選び、**実行**を押します。  
ここでは[りんご]を選びます。

3 **◁▷**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。  
印刷が開始されます。

- ・文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。
- ・「文字修飾」の指定は無効になります。
- ・文字の大きさの設定は無効になり、9/12mmテープでは常に1×1倍となり、18/24mmテープでは常に2×2倍となります。

### フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

※文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。

	24/18/12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	3行以内	2行以内	1行

# 作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

本機では、4件までデータを登録することができます。

## データを登録する

- 1 文字を入力した状態で、**機能** を押し、指を離してから **メモリー** (1) を押します。

登録 呼出  
削除

- 2 **上** **下** **左** **右** を押して **登録** を選び、**実行** を押します。

R かな 登録名?

.....

- 3 登録名を入力し、**実行** を押します。  
登録名は5文字まで入力できます。

どこへ登録?

1 (未登録)

- 4 **上** **下** を押して登録する場所(1~4)を選び、**実行** を2回押します。「しばらくお待ちください」に続いて「登録しました」と表示され、最初の画面に戻ります。



- すでに登録されている場所に上書きで登録しようとする、「上書きしますか?」と表示されます。上書きで登録すると前の登録データは失われます。
- 定型フォーマット、名前シールは登録できません。

## 登録したデータ呼び出す

登録したデータは、「データを登録する」の1の画面から呼び出します。

- 1 ▲▼◀▶を押して**呼出**を選び、**実行**を押します。  
登録名が表示されます。

1 自分用  
2 家族用

- 2 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を2回押します。  
データが呼び出されます。  
必要に応じて、修正・印刷してください。

## 登録したデータを削除する

登録したデータは、「データを登録する」の1の画面から削除することができます。

- 1 ▲▼◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。  
登録名が表示されます。
- 2 ▲▼を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。  
「削除しますか?」と表示されます。
- 3 **実行**を押します。
  - ・「しばらくお待ちください」に続いて「削除しました」と表示され、他に登録データがあるときは、その登録名が表示されます。  
引き続き、削除することができます。
  - ・データ削除の操作をやめるときは**取消し**を押します。

# デザインロゴ編

## ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ)

家の中や、家の周りなどでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

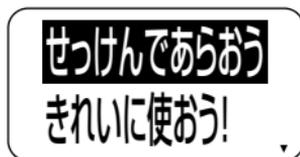
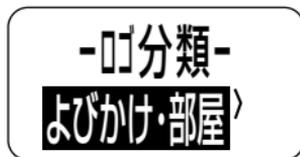
[印刷例]

きれいに使おう!

- ・デザインロゴは、「よびかけ・部屋」「防犯・注意」「収納・くつ箱」「タイトル・アルバム」「書類・郵便」「分別1」「分別2」「禁止・注意」の8つの分類に分かれています。詳細はデザインロゴ一覧(104ページ)をご覧ください。
- ・デザインロゴを印刷できるのは、12/18/24mm幅のテープです。

### デザインロゴを印刷する

- 1 電源  を押して、電源を入れます。
- 2  を押します。
- 3   を押して分類を選び、 を押します。  
ここでは、「よびかけ・部屋」を選びます。



## 4 を押して、ロゴデータを選びます。

- ここでは、「きれいに使おう!」を選びます。
- を押し、指を離してから印刷プレビュー を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます(プレビュー表示)。プレビュー表示について、詳しくは、31ページをご覧ください。

## 5 を押します。

印刷サイズ   
裏書き  しない

## 6 を押して印刷するサイズを選びます。

- 「裏書き」にしたいときは、を押して、 で  を選びます。

## 7 を押します。

## 8 を押して印刷を選び、を押します。

印刷が開始されます。

**重要** サイズを「小」にした場合、「テープながさ」の表示が **4.2cm** のように表示されます。この場合、作成したラベルの先頭の約17mmの余白をハサミでカットすると、左右のバランスが良くなり、表示された長さになります。

### ・デザインロゴの印刷時の大きさ

(サイズはいずれも縦×横で記載)

	24mm/18mm幅			12mm幅			9mm幅 以下
	倍率(%)		データの大きさ	倍率(%)		データの大きさ	
	縦	横		縦	横		
小	120	90	12×41mm	100	80	10×36mm	(不可)
中	120	120	12×54mm	100	100	10×45mm	(不可)
大	120	150	12×68mm	100	120	10×54mm	(不可)

# 入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、フォント、装飾の指定についても説明しています。

## カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している\_をカーソルといいます。

カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



⏪	左にカーソルが移動する	⏩	右にカーソルが移動する
<b>機能</b> を押し、指を離してから <<⏪を押す	文章の先頭にカーソルが移動する	<b>機能</b> を押し、指を離してから >>⏩を押す	文章の最後にカーソルが移動する

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、⏪ ⏩を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

(⏪ ⏩を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

# ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。

文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

## • ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

## • かな入力とは…

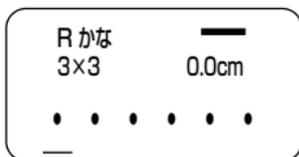
直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

## ローマ字入力とかな入力を切り替える

**機能**を押し、指を離してから<sup>あ</sup>**あ**を押します。

ローマ字入力を示します



かな入力を示します



• 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず<sup>あ</sup>**あ**を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

### 「設定」で切り替えるには

- 1 **機能**を押し、指を離してから<sup>設定</sup>**0**を押します。
- 2 **Ⓐ****Ⓧ****Ⓐ****Ⓧ**を押して「入力」を選び、**実行**を押します。
- 3 **Ⓧ**を押して「ローマ字入力」と「かな入力」の設定画面にします。
- 4 **⏪****⏩**を押して「かな入力」または「ローマ字入力」を選び、**実行**を押します。

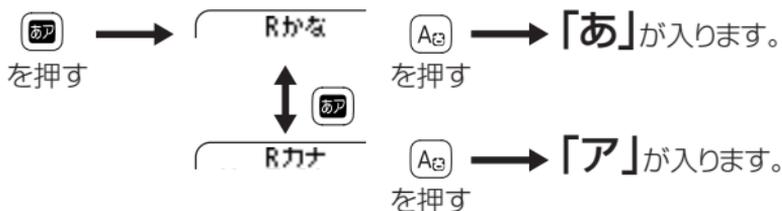
# 入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。**あア**や**あA**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

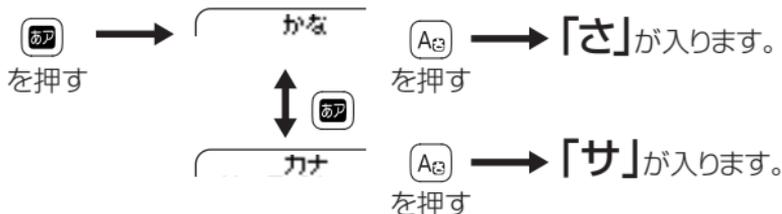
ここでは**あA**を例にとって、説明します。

## ひらがな・カタカナの入力

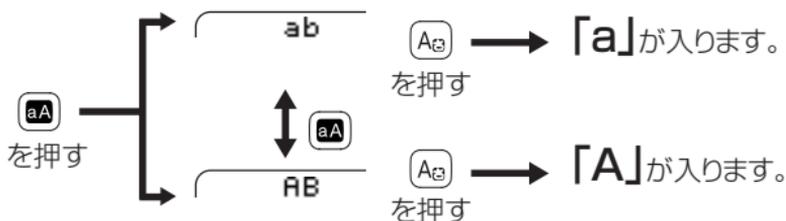
### ■ローマ字入力の場合



### ■かな入力の場合



## アルファベット(大文字・小文字)の入力



# ひらがな・カタカナの入力

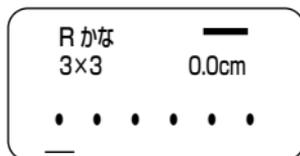
ここではローマ字入力で説明します。

## ひらがなの入力

【例】 さくら

1 **あ**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

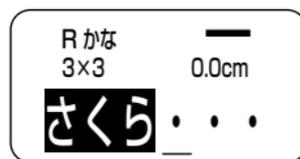
- かな入力の際は、「かな」を表示させます(57ページ)。



2 **S** **A** **K** **U** **R** **A**と押します。

- かな入力の際は…

**A** **E** **N**



3 **無変換**を押します。

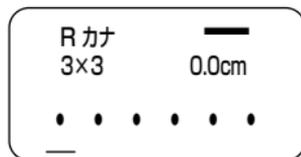
カタカナ変換

「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

## カタカナの入力

【例】 サクラ

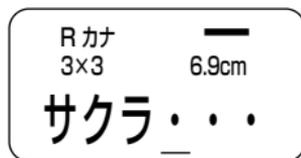
1 を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。



2      と押します。

• かな入力のときは…



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

【例】 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② となっているときに、を押し、指を離してから を押します。

が「サクラ」に確定されます。

## いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I <sub>ひ</sub> T <sub>ち</sub> T <sub>こ</sub> A <sub>お</sub>	Z <sup>#</sup> <sub>い</sub> シフト C <sub>っ</sub> Z <sub>っ</sub>
拗音	きょう	K <sub>き</sub> Y <sub>ゃ</sub> O <sub>う</sub> U <sub>う</sub>	W <sub>きゃ</sub> シフト ¥ <sub>ょ</sub> 3 <sup>#</sup> <sub>う</sub>
濁音	ぼく	B <sub>と</sub> O <sub>う</sub> K <sub>く</sub> U <sub>う</sub>	P <sub>ぼ</sub> I <sub>ろ</sub> E <sub>&lt;</sub>
半濁音	ぱぱ	P <sub>ぱ</sub> A <sub>あ</sub> P <sub>ぱ</sub> A <sub>あ</sub>	Y <sub>ゃ</sub> I <sub>ろ</sub> I <sub>ろ</sub> Y <sub>ゃ</sub> I <sub>ろ</sub> I <sub>ろ</sub>
句点	。	・ <sub>ん</sub>	シフト ・ <sub>ん</sub>
読点	、	・ <sub>ろ</sub>	シフト ・ <sub>ろ</sub>
長音	ー	[ <sub>ー</sub> ]	[ <sub>ー</sub> ]
中黒	・	シフト / <sub>ろ</sub>	シフト / <sub>ろ</sub>
を		W <sub>を</sub> O <sub>う</sub>	: * <sub>を</sub>
ん		N <sub>ん</sub> N <sub>ん</sub>	■ <sub>ん</sub>
空白		空白	空白
ヴ		「Rカナ」表示のときに V <sub>っ</sub> U <sub>っ</sub>	「カナ」表示のときに 3 <sup>#</sup> <sub>ろ</sub> I <sub>ろ</sub>
カ		X <sub>ち</sub> K <sub>く</sub> A <sub>あ</sub> または K <sub>く</sub> シフト A <sub>あ</sub>	シフト Q <sub>か</sub>
ケ		X <sub>ち</sub> K <sub>く</sub> E <sub>&lt;</sub> または K <sub>く</sub> シフト E <sub>&lt;</sub>	シフト R <sub>け</sub>

ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(92ページ)を参照してください。

- \* ローマ字入力の際は(シフト)と組み合わせて文字キーを押すと小文字(拗音)になりますが、やゆよあいう など拗音にすることができる文字に限ります。(小文字の入力については93ページを参照してください。)

# 漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**実行**を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- 文章を入力してから変換する
- 漢字1文字分ずつ変換する(当て字や難しい固有名詞などの変換)

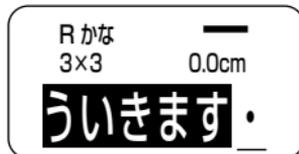
## 文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。

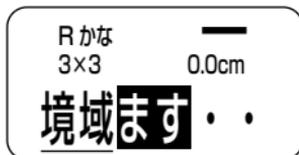
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

**【例】 今日行きます**

**1** 「きょういきます」をひらがなで入力します。

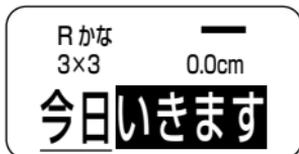


**2** **変換**を押します。  
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線がついています

**3** **左向き矢印**を2回押します。  
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



「今日」に変換されます

## 4 **実行**を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

## 5 **⊙**を2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

Rかな ー  
3×3 5.9cm

今日意気ます

## 6 **変換**を何回か押して、「行きます」にします。

**変換**を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉(同音異義語)が次々と表示されます。

- **機能**を押し、指を離してから**変換**を押す、または $\odot$ を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

Rかな ー  
3×3 5.9cm

今日行きます

## 7 「行きます」が表示されたら、**実行**を押します。

「行きます」が確定されます。

Rかな ー  
3×3 9.9cm

日行きます

### カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに**取消し**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

**変換**

**取消し**

例 きょう → 今日 → きょう

「よみ」を入れて**変換**を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(次ページ)

## 漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

〔例〕 敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 **〔単漢字〕**を押します。

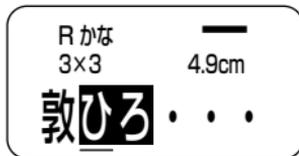


「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

3 **〔△▽◁▷〕**を押して、**〔敦〕**にします。



4 **〔実行〕**を押します。  
「敦」が確定されます。



5 **〔単漢字〕**を押します。



6 ▲▼◁▷を押して、**廣**にします。

敦ひろ・・・  
汎恢壺**廣**闊滉

7 **実行**を押します。

Rかな  
3×3  
5.9cm  
敦**廣**・・・

3のときにもう一度**単漢字**を押すと変換対象の範囲が「あつ」から「あ」となります。

(**単漢字**を押すごとに、変換対象の範囲が変化します。)

### 思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- ・「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- ・「囟(ず)」を「づ」と入力している
- ・「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- ・「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- ・「あ」「い」「う」「え」「お」「ゃ」「ゆ」「よ」の拗音
- ・「っ」の促音
- ・「ず」と「づ」
- ・「じ」と「ぢ」
- ・「お」と「う」

# アルファベット・数字・記号の入力

アルファベット、数字、記号の入れかたを説明します。

## アルファベットの入力

【例】 AKI

- 1  を何回か押して、画面の左上に「AB」または「ab」を表示させます。  
AB: 大文字の入力時  
ab: 小文字の入力時



- 2    と押します。  
アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

- カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには  
画面の左上に「AB」または「ab」と表示されているときに、次のキーを押します。

ピリオド:  カンマ: 

- 大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「AB」表示のとき  を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

**例** TAKESHI's

「ab」表示のとき  を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

**例** English

## 数字の入力

[例] 1 2 3

### ■ローマ字入力するとき

1 (1<sup>ひ</sup>) (2<sup>い</sup>) (3<sup>ろ</sup>) と押します。

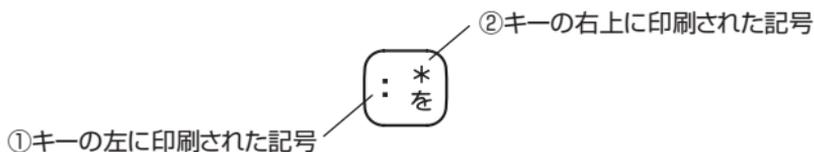
数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

### ■かな入力するとき

1 (aA) を押して、画面の左上に「ab」または「AB」を表示させます。

2 (1<sup>ひ</sup>) (2<sup>い</sup>) (3<sup>ろ</sup>) と押します。

## 記号(キーに印刷されているもの)の入力



### ■ローマ字入力の場合

- ① **[ :\* ]**を押すと → **「:」**が入ります。
- ② **[ シフト ]**を押し、指を → **「\*」**が入ります。  
離してから **[ :\* ]**を  
押すと

### ■かな入力の場合

- ① **[ aA ]** → **AB**  
または  
**ab**  
**[ :\* ]** → **「:」**が入ります。  
を押すと
- ② **[ aA ]** → **AB**  
または  
**ab**  
**[ シフト ]**を押し、指を → **「\*」**が  
離してから **[ :\* ]**を 入ります。  
押すと

## その他の記号

…《》☞ 4 ♥ キロ ム ♪ など

記号は「点など」「カッコ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「その他」の7つのグループに分かれています。95ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例] ⑤(グループ名……数字)

1 **機能** を押し、指を離してから <sup>記号</sup>⑦ を押し  
ます。

記号のグループ名

点など  
カッコ  
矢印 数字

2 ▲▼◀▶ を押して **数字** にし、**実行** を押し  
します。

数字 1

①②③④⑤⑥

3 ▲▼◀▶ を押して **⑤** にし、**実行** を押し  
します。

R かな  
3×3 4.9cm

⑤ . . . . .

# 絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は12のグループに分かれています。

95～97ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

[例]  (グループ名……食べ物)

1  を押し、指を離してから  を押し  
ます。

絵文字のグループ名

予定 乗り物  
食べ物暮らし

2     を押して **食べ物** にし、 を  
押します。

食べ物 1



3     を押して **🍆** にし、 を押  
します。

Rかな  
3×3

4.9cm



# 文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

## 文字を1文字ずつ消す

### ■カーソルの上の文字を消す

[例] 「たたろう」の「た」を消して「たろう」に直す

- 1 ⓧを何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。

Rかな 3×3 7.9cm

たたろう・・・

- 2 **文字削除**を押します。「たろう」になります。

Rかな 3×3 6.9cm

たろう・・・

### ■カーソルの前の文字を消す

[例] 「たろうう」の最後の「う」を消して、「たろう」に直す

- 1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。

Rかな 3×3 7.9cm

たろうう・・・

- 2 **後退**を押します。「たろう」になります。

Rかな 3×3 6.9cm

たろう　・・・

## すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** と押します。

「削除しますか?」と表示されます。

2 **実行** を押します。

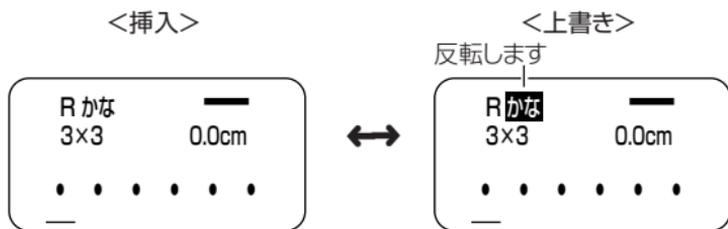
・画面にあった文字はすべて消えます。

## 間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

### ■「上書き」にするとき

**シフト** を押し、指を離してから **あ** を押します。

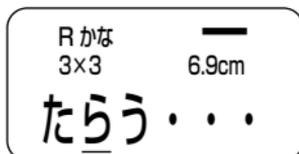


もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あ** を押すと、「挿入」状態に戻ります。

### ■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

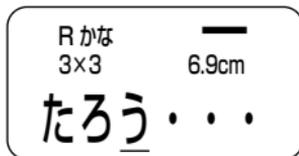
**[例]** 「たらう」を「たろう」に直す

1 **左** **右** を押して「ら」にカーソルを合わせます。



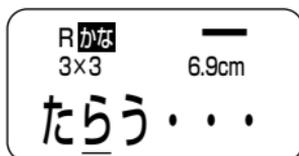
2 **文字削除**を押します。  
「ら」が削除され、「う」が「ら」の位置に移動します。

3 「ろ」を入力し、**無変換**  
カタカナ変換を押します(確定し  
ます)。



## ■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 **左****右**を押して「ら」にカーソルを合わせ  
ます。



2 「ろ」を入力します。  
「ら」が「ろ」になります。

### 「設定」で切り替えるには

- 1 **機能**を押し、指を離してから**修正**  
**0**を押します。
- 2 **上****下****左****右**を押して「入力」を選び、**実行**を押します。
- 3 **左****右**を押して「挿入」または「上書き」を選び、**実行**を押します。

### 確定前に文字を消すには

**たたらう** など、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を消す  
ときも、カーソルを消したい文字に合わせて**文字削除**を押して消します。  
また、**取消**を押すと、■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→61ページ

# 書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体、かな・英数6書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

## ■和文書体(かな・英数を除く)

丸ゴシック体	明朝体
亜	亜

## ■かな・英数書体

丸ゴシック体	明朝体
あアA1	あアA1
ボンジュール	メロディ
あアA1	あアA1
パレット	プロデュース
あアA1	あアA1

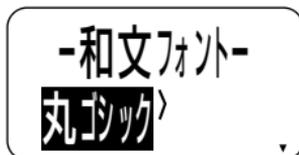
- ・メモリーリセット後は、「和文:丸ゴシック体」「かな・英数:和文と同じ(丸ゴシック体)」に設定されています。

# 定価 ¥ 39,800

【例】（「定価」を丸ゴシック体に、「¥39,800」をメロディにする）

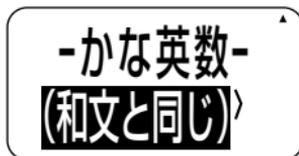
1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **2** <sup>フォント</sup> を押し  
ます。



3 **◀▶** を押して **丸ゴシック** を選び、**実行**  
を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）



4 **◀▶** を押して **メロディ** を選び、**実行** を押します。

（かな・英数の書体の種類を選びます。）

※ **和文と同じ** を選ぶと、和文と同じ書体の設定になります。

※ **和文と同じ** 以外を選んだときは、かな・英数の書体は、手順4で選んだ書体になります。和文と、かな・英数の書体を同じにしたい場合は、**和文と同じ** を選んでください。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

丸ゴシック

■ R かな —  
■ 3×3 11.6cm

メロディ

9, 800. —

## 電源を入れたときの書体を決める(初期フォント)

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** の **0** を押します。
- 2 **△** **▽** **◀** **▶** を押して **フォント** にし、**実行** を押します。
- 3 **△** **▽** **◀** **▶** を押して和文書体とかな英数書体のフォント名を選び、**実行** を押します。
- 4 **電源** を押して一度電源を切り、再び **電源** を押して電源を入れます。
- 5 文字入力の画面を表示させます。  
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

### 微小フォントについて

- 行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(94ページ)。
  - 微小フォントには、次のような特徴があります。
    - ・ フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
    - ・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
    - ・ 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。
  - 微小フォントに設定されているときは、画面左下に「微小フォント」の **■** が点灯します。
- 
- メモリーに登録されているデータや、「[実行]で前回の文章が復帰します」で呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

# 文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます(文字体)。

- ・ 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準  
住所録

太字  
住所録

白抜  
住所録

影付  
住所録

立体  
住所録

1 文字を入力します。

2 を押し、指を離してから を押しします。

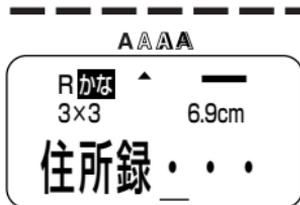
3 を押して **文字体** を選び、 を押しします。



4 を押して文字体の種類を選び、 を押しします。

- ・ **A標準** を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- ・ 設定後、文字入力の画面に戻ります。

画面右上の「A」(太字)・「A」(白抜)・  
「A」(影付)・「A」(立体)に「▲」がつき  
ます。  
標準の場合は何もつきません。



# 文字に飾りをつける

文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。

網 掛	下 線	枠付
修飾	修飾	修飾

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **4** <sup>修飾</sup> <sub>え</sub> を押します。

3 **◀ ▶** を押し、**もじ修飾** を選び、**実行** を押します。



4 **⊕ ⊖ ◀ ▶** を押し、文字修飾の種類を選び、**実行** を押します。

- **取消し** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。
- 定型フォーマット、名前シールでは、フォーマットによって「枠付」に固定されているものと「枠付」を選べるものがあります。「網掛」はフォーマットによっては固定されています。「下線」を選ぶことはできません。
- 設定後、文字入力画面に戻ります。

## 文字修飾を重ねることもできます

手順2~4の操作を繰り返して設定してください。

**特売**

網掛+枠付

**特売**

網掛+下線

- ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

# 設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

## 設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

### 設定できる項目

**機能** を押し、指を離してから **設定** を押し、右の画面が表示されます。

△▽◀▶ で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



- 設定に入るときの画面によっては、一部の項目が表示されないことがあります。

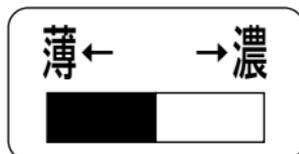
設定項目		内容	ページ
入力	挿入/上書き	入力モードを切り替える	72
	ローマ字入力/かな入力	入力方法を決める	56
輝度		画面の濃淡を調整する	79
濃度		印刷の濃さを調整する	79
フォント(初期フォント)		入力文字の最初の書体を決める	75
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷する	80

## 画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

1 機能 を押し、指を離してから<sup>設定</sup>0<sub>の</sub>を押します。

2 ▲▼◀▶を押して「輝度」を選び実行 を押します。



3 ◀▶を押して明るさを調整し、実行 を押します。  
◀を押すごとに薄く、▶を押すごとに濃くなります。

## 印刷の濃さを変えたい

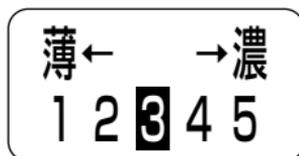
印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 機能 を押し、指を離してから<sup>設定</sup>0<sub>の</sub>を押します。

2 ▲▼◀▶を押して「濃度」を選び実行 を押します。

3 ◀▶を押して濃さを設定し、実行 を押します。

1 にすると1番薄く印刷され、5 にすると1番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

## サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることが出来ます。

**重要**  デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。  
また、ノートなどに控えをとっておいてください。  
(データの登録→51ページ)

- 1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
  - ・ テープカートリッジについて→20ページ
- 2 電源が入っているときは  を押して電源を切ります。
- 3  を押して電源を入れます。  
[[実行]で前回の文章が復帰します」と表示された場合は、 を押します。
- 4  を押し、指を離してから  を押します。
- 5  を押して「デモ印刷」を選び、 を押します。
- 6  を押します。
  - ・ 印刷が始まります。
  - ・ セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。
- 7 印刷が終了したら  を押して  を選び、 を2回押します。

# 付 録

## 電源について

本機を使うときは、電源として付属のACアダプターのほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

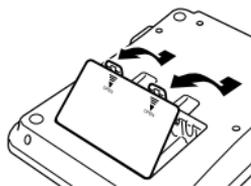
• ご使用前に「安全上のご注意」(1～8ページ)を必ずご覧ください。

### 乾電池で使う

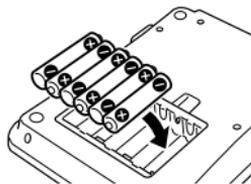
市販の単3形アルカリ乾電池を6本使用します。(必ずアルカリ乾電池をご使用ください。)

#### 1 本体裏側の乾電池カバーを取り外します。

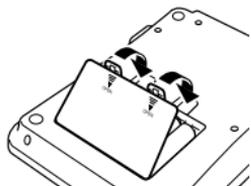
乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。



#### 2 乾電池をセットします。 ⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



#### 3 乾電池カバーを取り付けます。





- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。付属のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境でご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプター(16ページ)や乾電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「ACアダプターから電池に切り替えるとき」「電池からACアダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってから電池のセットやACアダプターの接続をしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

## 電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約4巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

# お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

## 綿棒できれいにする

**重要**  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

### 1 カセットカバーを開けます。

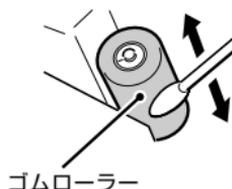
・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

**重要**  印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてから、テープカートリッジを取り外してください。

### 2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。

- ・ゴムローラーは、**機能**を押し、指を離してから  を押しと回転します。
- ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。



## クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

### 1 カセットカバーを開けます。

- ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。



印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてから、テープカートリッジを取り外してください。

### 2 クリーニングテープを本機に装着します。

### 3 電源 ○を押して電源を入れます。

### 4 機能を押し、指を離してからテープ送りを押して、「テープ送り」を1~2 回行います。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

#### 本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

# こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」(18ページ)をしてください(メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えをとってください)。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●電源を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(79ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(16ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外のACアダプターや乾電池を使用している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。(81ページ)
●正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。(83ページ)
	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(20ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷が不鮮明になった</li> <li>● 印刷がきれいにできない</li> <li>● 印刷が薄い</li> </ul>	乾電池が消耗している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。(79ページ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷されない</li> <li>● 印刷中に電源が切れる</li> </ul>	乾電池が消耗している、または指定以外のACアダプターや乾電池を使用している	付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
● 文字が入力できない	<b>機能</b> を押した状態になっている	<b>取消し</b> を押して、文字が入力できる画面にします。
● 目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	<b>あ</b> または <b>あA</b> を押して変更してください。(57ページ)
● <b>印刷</b> などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 <b>あか</b>  漢字に下線がついている 例 <b>赤</b>	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりと(確定前)、他の機能が使えません。
● <b>印刷</b> を押してもテープが出てこない	本機のカセットカバーがしっかりと閉まっていない	カセットカバーをしっかりと閉めてください。(22ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(20ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
<p>● を押してもテープが出てこない</p>	<p>テープがつかまっている</p>	<p>テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(21ページ)</p> <p><b>重要!</b>  印刷中に、次のようなことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• テープ出口をふさぐ</li> <li>• 出てくるテープにさわる</li> <li>• 本機のカセットカバーを開ける</li> <li>• 電源を切る。</li> </ul>
	<p>乾電池が消耗している</p>	<p>付属のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。</p>
	<p>テープカートリッジのストッパーを外していない</p>	<p>20ページの「テープカートリッジを取り付ける」にしたがって、ストッパーを外してからセットしてください。</p>
<p>● インクリボンがテープと一っしょにテープ出口からでてきた</p>	<p>インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした</p>	<p>テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットし直してください。(21ページ)</p> <p><b>重要!</b>  <b>重要!</b>  テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。</li> </ul>

症状	考えられる原因	ご確認ください
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(112ページ)
	テープ出口にテープがつかまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。
	反射テープ、アイロン布テープを使用している	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(30ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(30ページ)
●ラベルの先頭の余白が大きい	本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります	

## エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターや乾電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合。</li> </ul>	16 18
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。</li> </ul>	81
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字を入力していない状態で、フリーラベル、定型フォーマット、名前シールを使って印刷しようとした場合。</li> <li>➡ 文字を入力してから、印刷操作をしてください。</li> </ul>	—

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「フリーラベルで文字を80文字を超えて入力しようとした場合」、「未確定文字を32文字を超えて入力しようとした場合」、または「定型フォーマット、名前シールで決められた文字数を超えて入力しようとした場合」。</li> <li>• 登録名入力で5文字を超えて入力しようとした場合。</li> <li>➔ 文章の文字数を減らしてください。</li> </ul>	—
電池残り少	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電池が消耗した場合。</li> <li>➔ できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または付属のACアダプターを使用してください。</li> <li>• 10℃未満の低温下で使用した場合。</li> <li>➔ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。</li> </ul>	82
候補なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単漢字変換で、候補の漢字がない場合。</li> <li>➔ <b>取消</b>を押して別の読みで変換操作をしてください。</li> </ul>	63
行数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3.5mmテープで改行マークを入力しようとした。</li> <li>➔ 3.5mmテープでは改行マークは入力できません。</li> <li>• 6mmテープで改行マークを2つ入力しようとした。</li> <li>➔ 6mmテープでは改行マークは1つまで入力可能です。</li> <li>• 9/12/18/24mmテープで改行マークを3つ入力しようとした。</li> <li>➔ 9/12/18/24mmテープでは改行マークは2つまで入力可能です。</li> </ul>	42
行数オーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3.5mmテープで2行以上、6mmテープで3行の文章を作成し、印刷または印刷プレビューをしようとした場合。</li> <li>➔ 行数を減らしてください。</li> <li>• 6mmテープで2行のラベルを作り、フレーム印刷（イラスト、飾り）をしようとした場合。</li> <li>➔ 行数を減らすか、テープカートリッジを9mm以上の幅のものに変えてください。</li> </ul>	42 50

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>9mm テープで3行のラベルを作り、フレーム印刷（イラスト、飾り）をしようとした場合。</li> <li>➡ 行数を減らすか、テープカートリッジを12mm以上の幅のものに変えてください。</li> <li>2行以上の文章を作成し、文字単位のフレーム印刷をしようとした場合。</li> <li>➡ 文字単位のフレームは2行以上では印刷できません。1行で作成してください。</li> </ul>	42 50
テープカートリッジが不適当です	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.5/6/9/12/18/24mm以外のテープカートリッジがセットされている場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして、3.5/6/9/12/18/24mmのテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	20
テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープカートリッジがセットされていない場合。</li> <li>➡ 電源をOFFしてテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	20
6mm以下のテープを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型フォーマットのMD背、CD-R背のフォーマットに入るときに9mm以上のテープカートリッジがセットされている場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして6mm以下のテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	100 101
6mm以上のテープを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレーム印刷で3.5mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして6mm以上のテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	49
9mm以上のテープを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型フォーマットのMD背、CD-R背以外のフォーマットまたは名前シールに入るときに6mm以下のテープカートリッジがセットされている場合。</li> <li>フレーム印刷で、6mmのテープカートリッジがセットされているときに「文字」を選んだ場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして9mm以上のテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	99

メッセージ	原因と対処	参照ページ
12mm以上のテープを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前シールの「住所」のフレーム付き3行のフォーマットで、9mm以下のテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。</li> <li>• デザインロゴに入るときに、9mm以下のテープカートリッジがセットされている場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして12mm以上のテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	103
18mm以上のテープを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前シールの「えんぴつ巻き」で、3.5/6/9/12mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。</li> <li>➡ 電源をOFFして18mm以上のテープカートリッジをセットしてください。</li> </ul>	102
リットエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 印刷中に、テープがつまってしまった場合。</li> <li>➡ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。</li> <li>※ 上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買いあげの販売店または取扱説明書などに記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。</li> </ul>	23 112
文章を削除？ 実行／取消し	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定型フォーマット、名前シール、デザインロゴを行おうとしたときにすでに文字が入力されていた場合。</li> <li>➡ 文字を削除して定型フォーマット、名前シール、デザインロゴを行う場合は、<b>(実行)</b>を押してください。</li> <li>➡ 文字を削除したくない場合は、<b>(取消し)</b>を押してください。</li> </ul>	—
データが登録 されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メモリーの呼出しで、登録されているデータが存在しなかった場合。</li> <li>➡ メモリーの登録をしてから、呼出しをしてください。</li> </ul>	51

# ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	い	え
	YA		YU	YE	YO

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん	NN, N+子音 MP+母音、MB+母音			
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くゐ		くゑ	くゑ
	QA	QI		QE	QO
くわ行	くわ	くゐ	くゑ	くゑ	くゑ
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐわ行	ぐわ	ぐゐ	ぐゑ	ぐゑ	ぐゑ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しゑ	しよ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じゑ	じよ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちゐ	ちゅ	ちゑ	ちよ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢゐ	ぢゅ	ぢゑ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つあ行	つあ	つい	つえ	つお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てや行	てや	てい	てゆ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でや行	でや	でい	でゆ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とう		とう			
		TWU			
どう		どう			
		DWU			
にや行	にや	にい	にゆ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひや行	ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びや行	びや	びい	びゆ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴや行	ぴや	ぴい	ぴゆ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふあ行	ふあ	ふい	ふえ	ふお	
	FA	FI	FE	FO	
ふや行	ふや	ふい	ふゆ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶや行	ぶや	ぶい	ぶゆ	ぶえ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みや行	みや	みい	みゆ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りや行	りや	りい	りゆ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶあ行	ぶあ	ぶい	ぶえ	ぶお	
ヴア行	ヴァ	ヴィ	ヴエ	ヴォ	
	VA	VI	VU	VE	VO

## 小文字(拗音・促音)

あ XA ㊦+A	い XI ㊦+I	う XU ㊦+U	え XE ㊦+E	お XO ㊦+O
や XYA Y㊦A	ゆ XYU Y㊦U	よ XYO Y㊦O	わ XWA W㊦A	

つ XTU, XTSU, LTU T㊦U, TS㊦U	カ XKA K㊦A	ケ XKE K㊦E
----------------------------------	-----------------	-----------------

※ N以外の子音を2度入力しても「っ」や「っ」になります。

# テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	3行	40ページ 43ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	3行	—	—	44ページ
最大“縦”倍率		微小 1倍	標準 1倍	標準 2倍	標準 3倍	標準 4倍	標準 4倍	44ページ 43ページ

## 各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○※1	○	○	○	○
定型フォーマット	○	○	○	○	○	○
名前シール印刷	×	×	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※ 1 文字単位のフレームでは、6mm幅のテープは使用できません。

※ 定型フォーマットと名前シールでは、フォーマットによって使用可能テープが異なります。詳しくは99～103ページを参照してください。





## 絵文字

### ●文房具



### ●注意



### ●案内



### ●干支



### ●星座

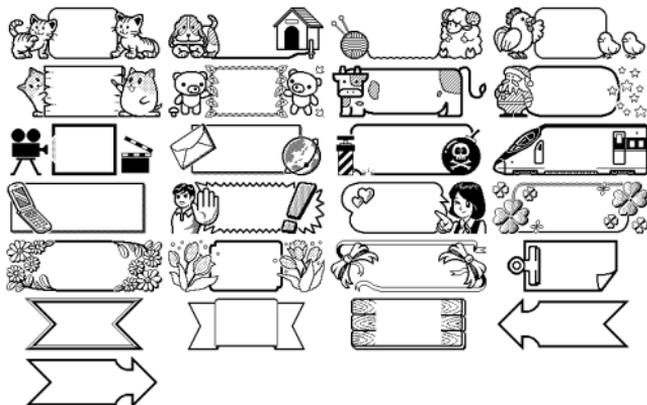


### ●その他

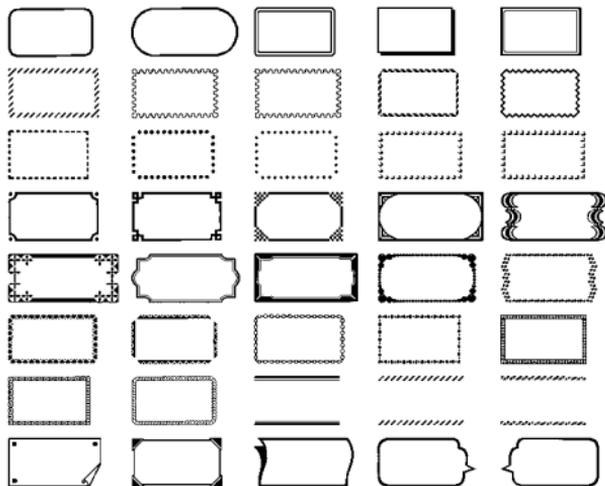


# フレーム一覧

## ●イラストフレーム



## ●飾りフレーム



## ●文字単位フレーム



# 定型フォーマット一覧

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (12種類)	VHS (14.8cm)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3	○	○	○	○	-	-
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	ミニDV (6.5cm)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		タイトル コメント1 コメント2	○	○	○	○	-	-
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	8ミリ (9.4cm)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2	○	○	○	○	-	-
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
オーディオ(9種類)	MD表 (7.1cm)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2	○	○	○	○	-	-
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	MD背 (5.7cm)	横	(なし)		タイトル	-	-	-	-	○	○
	カセット (9.9cm)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2	○	○	○	○	-	-
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	ファイル大 (18.0cm)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル コメント						
縦		3		ぶるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3	○	○	○	○	-	-	

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル(11種類)	ファイル小 (14.0cm)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル コメント	○	○	○	○	-	-
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3						
	CD-R表 (11.4m)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2	○	○	○	○	-	-
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	CD-R背 (11.4cm)	横	(なし)		タイトル	-	-	-	-	○	○
期限日(7種類)	賞味 (自動)	横	(なし)		ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	消費 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	開封日 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	調理日 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	冷凍日 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	開始日 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-
	交換日 (自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	-	-

# 名前シールフォーマット一覧

※3.5mm/6mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	種類	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
							24	18	12	9	6	3.5
えんぴつ巻き (巻き) (2種類)	えんぴつ巻き (4.2cm:1行) (4.5cm:2行)	横	1行	1	┆	なまえ						
		横	2行	2	┆┆	なまえ1 なまえ2	○	○	-	-	-	-
小物用 (自動) (4種類)	小物用 (自動)	横	2枚	1	══	なまえ						
		横	4枚	2	═══	なまえ						
		横	6枚	3	═══	なまえ	○	○	○	○	-	-
		横	8枚	4	═══	なまえ						
ノート大 (6種類)	基本 (8.0cm) *1	横	1行	1	████████	なまえ						
		横	2行	2	═══	ねん・くみ なまえ						
	フレーム付 (8.0cm) *1	横	1行	3	████████	なまえ						
		横	2行	4	═══	ねん・くみ なまえ	○	○	○	○	-	-
	絵文字付 (8.0cm) *1	横	1行	5	█ ██████	ぶんるい なまえ						
		横	2行	6	█ ════	ぶんるい ねん・くみ なまえ						

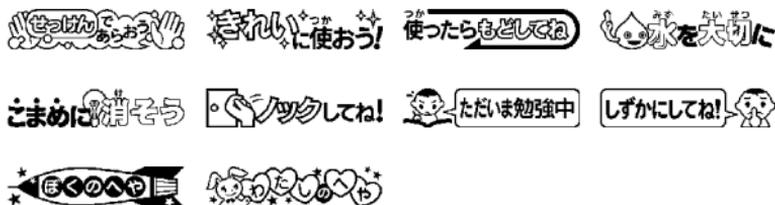
※1 先頭の余白を切ったときの出来上がりの長さになります。

用途	規格	方向	種類	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
							24	18	12	9	6	3.5
ノート小 (6種類)	基本 (6.0cm) *1	横	1行	1		なまえ						
		横	2行	2		ねん・くみ なまえ						
	フレーム付 (6.0cm) *1	横	1行	3		なまえ						
		横	2行	4		ねん・くみ なまえ	○	○	○	○	-	-
	絵文字付 (6.0cm) *1	横	1行	5		ぶんるい なまえ						
		横	2行	6		ぶんるい ねん・くみ なまえ						
住所 (6種類)	基本 (8.0cm) *1	横	2行	1		じゅうしょ なまえ						
		横	3行	2		じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ						
	フレーム付 (8.0cm) *1	横	2行	3		じゅうしょ なまえ						
		横	3行	4		じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ	○	○	○	*2	-	-
	絵文字付 (8.0cm) *1	横	2行	5		ぶんるい じゅうしょ なまえ						
		横	3行	6		ぶんるい じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ						

※2 「住所」の「フレーム付」「3行」のフォーマットでは、9mmのテープカートリッジは使用できません。

# デザインロゴ一覧

## ●よびかけ・部屋



## ●防犯・注意



## ●収納・くつ箱



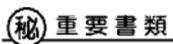
## ●タイトル・アルバム



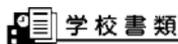
## ●書類・郵便



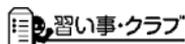
説明書・保証書



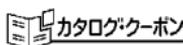
重要書類



学校書類



習い事・クラブ



カタログクーポン



診察券・カード



折曲厳禁

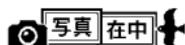
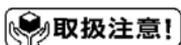


写真 在中



AIR MAIL

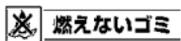


取扱注意!

## ●分別1



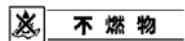
燃えるゴミ



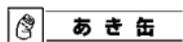
燃えないゴミ



可燃物



不燃物



あき缶



あきビン



アルミ缶



スチール缶



ペットボトル



紙類

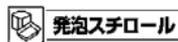
## ●分別2



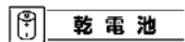
新聞・雑誌



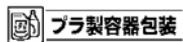
ダンボール



発泡スチロール



乾電池



プラ製容器包装



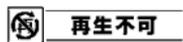
スプレー缶



紙バック



再生可



再生不可



食品トレー

## ●禁止・注意



立入禁止  
DO NOT ENTER



火気厳禁  
FLAMMABLE



土足厳禁  
NO STREET SHOES



開放厳禁  
DO NOT LEAVE DOOR OPEN



禁煙  
NO SMOKING



飲食禁止  
NO EATING OR DRINKING



携帯使用禁止  
NO MOBILE PHONES



撮影禁止  
NO PHOTOGRAPHY



使用禁止  
DO NOT USE



喫煙所  
SMOKING AREA

# 仕様

形式 : KL-H75

## 入力

入力方法 : ローマ字入力、かな入力

変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

## 辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約88,000語

単漢字変換 約13,000語

## 文字種

5,028文字

漢字 : 4,166文字 (JIS第1水準 : 2,965文字 / JIS第2水準 : 1,201文字)

ひらがな : 83文字 / カタカナ : 86文字 / 数字 : 10文字 /

アルファベット : 52文字 / 記号 : 187文字 / 絵文字 : 444文字

## 表示

液晶表示 : 95×32ドット

入力部分 : 6桁×1行

## 印刷

印字密度 : 200dpi

印刷方式 : 熱転写方式

印字速度 : 約6mm/秒

印字幅 : 最大約12mm

a) 2mm (テープ幅 3.5mm)    b) 4mm (テープ幅 6mm)

c) 7mm (テープ幅 9mm)    d) 10mm (テープ幅 12mm)

e) 12mm (テープ幅 18/24mm)

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 和文 (丸ゴシック体 / 明朝体)

かな・英数 (丸ゴシック体 / 明朝体 / ボンジュール / メロディ /  
パレット / プロデュース)

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜・影付・立体

文字修飾 : 網掛・下線・枠付

印字行数 : 3.5mm幅テープ使用時 1行印刷可能  
6mm幅テープ使用時 1~2行印刷可能  
9/12/18/24mm幅テープ使用時 1~3行印刷可能

## 内部記憶

文字編集用の記憶 : 1件(フリーラベルのみ:80文字)  
文字登録用の記憶 : 4件(フリーラベルのみ:1件につき80文字)  
単漢字変換学習 : 10語

## 登録

テキストエリア一括登録 : 4件

## 電源・その他

動作用電源 : ACアダプター(AD-A95100)(家庭用100V電源  
使用)

単3形アルカリ乾電池×6本(市販品)

消費電力 : 9W

オートパワーオフ : 約6分

大きさ : 幅167mm×奥行223mm×高さ52.5mm(足含む)

質量 : 約610g(乾電池含まず)

使用温度 : 10℃~35℃

# 別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下のURL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

### ● クリーニングテープ

XR-24CLE

長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

※品切れの際はご容赦ください。

※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

# 索引

## アルファベット・数字

ACアダプター	16
CD-R用ラベル	101
MD用ラベル	100
VHS用ラベル	99
2行印字	42
8ミリ用ラベル	99

## あ行

アフターサービス	111
網掛	77
アルファベットの入れかた	65
イメージャー表示	38
印刷	28
印刷濃度	79
印刷プレビュー	24, 31
印刷方向	43
印字行数	106
印字サイズ	47
印字密度	106
裏書き	44
上書き	72
絵文字	69
絵文字一覧	95
エラーメッセージ	88
えんぴつ巻きラベル	102
オートパワーオフ	19
大文字の入れかた(アルファベット)	65

## か行

カーソル	55
改行	42
確定	61
各部の名前	12
影付	76
カセット用ラベル	100
下線(修飾)	77
下線(変換)	62
カタカナの入れかた	59

カタカナ変換	59
かな漢字まじり文の入れかた	61
かな入力	56
画面の見かた	27
漢字の入れかた	61
乾電池	81
キー	24
キーボード	24
キーのはたらき	24
期限日用ラベル	101
記号一覧	95
記号の入れかた	67
輝度(画面)	79
行頭	55
行末	55
クリーニング	83
後退	70
ゴムローラー	83
小文字の入れかた(アルファベット)	65
小文字(促音・拗音)の入れかた (ひらがな・カタカナ)	60
小物用ラベル	102
こんなときは(トラブルシューティング)	85

## さ行

削除(文削除)	71
削除(メモリー)	52
削除(文字削除)	70
ジャストフィット印刷	42
住所用ラベル	103
収納ケース	14
熟語変換	61
仕様	106
使用できるテープ	94
初期化	18
初期設定	18
初期フォント	75
書式	45
書体	73

白抜	76
数字の入れかた	66
スクロール	55
設定	
印刷濃度	79
輝度調整	79
初期フォント	75
挿入/上書き	72
デモ印刷	80
ローマ字/かな入力	56
前候補	62
全文削除	71
装飾	76, 77
挿入	71

### た行

たて/うら	43, 44
縦書き	43
単漢字変換	63
定型フォーマット	36
定型フォーマット一覧	99
デザインロゴ	53
デザインロゴ一覧	104
データの登録	51
データの保持	17
データの呼出し	52
テープ	20
テープ送り	31
テープカートリッジ	20
テープカートリッジのセット	20
テープカートリッジの取り出し	23
テープガイド	21
テープカット	29
テープ出口	12
テープ幅と行数・倍率一覧	94
デモ印刷	80
電源	19
電源を入れる	19
電源を切る	19
電池をセットする	81
登録(メモリー)	51
同音異義語変換	62

トラブルシューティング	85
-------------	----

### な行

名前シール	40
名前シールフォーマット一覧	102
入力	
絵文字	69
記号	67
文字	56
ノート用ラベル	102

### は行

パレット	73
微小フォント	48
表示画面	27
標準	76
ひらがなの入れかた	58
ファイル用ラベル	100
フォーマット	36
フォント(書体)	73
複数行の印字	42
付属品	14
太字	76
フリーラベル	35
プリンターヘッド	23
フレーム	49
フレーム一覧	98
レビュー画面	31
プロデュース	73
文削除	71
別売品について	107
変換	
カタカナ	59
熟語	61
単漢字	63
同音異義語	62
方向(印刷方向)	43
保証	111
ボンジュール	73
ま行	
丸ゴシック体	73

ミニDV用ラベル	99
明朝体	73
無変換	58
メモリー(登録)	51
メモリーの初期化(リセット)	18
メロディ	73
文字間隔	46
文字キー	25
文字サイズ	47
文字削除	70
文字修飾	77
文字体	76
文字の入れかた	56
文字の訂正	71
文字倍率	47
文字割付	45

#### や行

呼出し(メモリー)	52
-----------	----

#### ら行

リセット(初期化)	18
立体	76
ローマ字/かな	56
ローマ字入力	57
ローマ字入力一覧	92

#### わ行

枠付	77
----	----